

地域医療支援病院の業務に関する報告書

令和7年10月 6日

神奈川県知事 殿

開設者 住 所 東京都目黒区東が丘2-5-21  
 氏 名 独立行政法人国立病院機構  
 理事長 新木 一弘

（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

医療法第12条の2第1項の規定により、令和6年度の業務に関して報告します。

名 称	独立行政法人国立病院機構神奈川病院					
所在の場所	〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1 電話0463(81)1771					
病 床 数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
	0床	0床	30床	0床	300床	330床
施設 の 構 造 設 備	施設名	設備概要				
	集中治療室	（主な設備） 特定の病室（3病棟301号室）に人工呼吸器、生体情報集中監視装置、患者監視装置、大動脈バルーンポンプシステム、除細動器、ベッドサイドモニタ、医用テレメーターを備えて、術後管理及び重傷者管理に使用している ※移動型エックス線撮影装置は放射線科に配置 病床数 3床				
	化学検査室	（主な設備） 多項目自動分析装置、血液凝固測定装置、全自動化学発光酵素免疫装置、多項目自動血球分析装置				
	細菌検査室	（主な設備） 全自動血液培養検査装置、全自動細菌検査システム、DNA核酸増幅自動測定システム、安全キャビネット				
	病理検査室	（主な設備） パラフィン包埋ブロック作成装置、凍結組織切片作成装置				
	病理解剖室	（主な設備） 解剖台、解剖室遺体冷蔵装置、解剖灯（無影灯）				
	研究室	（主な設備） 室数 1室 机、椅子、ノート型パソコン				
	講義室	室数 2室 収容定員 100人 机、椅子、マイク、プロジェクター				
図書室	室数 1室 蔵書数 約500冊程度 机、椅子、電子図書（ノートパソコン）					



救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 患者搬送用自動車：保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 11.20㎡ [共用室の場合] 室と共用

備考 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記載してください。

添付書類 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（以下「共同利用」という。）に関する規定の写し

(第2面)

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	81.5%	算定期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	125.6%		
算出根拠	A：紹介患者の数		2,771人
	B：初診患者の数		3,396人
	C：逆紹介患者の数		4,266人

備考 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載してください。

2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載してください。

(第3面)

救急医療の提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

番号	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
2	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
3	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
4	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
5	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
6	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
7	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
8	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
9	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
10	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
11	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
12	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
13	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
14	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
15	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
16	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
17	医師		常勤 専従	38.75時間/週	
18	医師		常勤 専従	38.75時間/週	

番号	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
19	医師	[Redacted Name]	常勤 専従	35時間/週	
20	医師		非常勤 専従	21時間/週	
21	医師		非常勤 専従	21時間/週	
22	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
23	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
24	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
25	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
26	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
27	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
28	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
29	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
30	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
31	薬剤師		常勤 専従	38.75時間/週	
32	診療放射線技師		常勤 専従	38.75時間/週	
33	診療放射線技師		常勤 専従	38.75時間/週	
34	診療放射線技師		常勤 専従	38.75時間/週	
35	診療放射線技師		常勤 専従	38.75時間/週	
36	診療放射線技師	常勤 専従	38.75時間/週		
37	診療放射線技師	常勤 専従	38.75時間/週		

番号	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
38	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
39	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
40	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
41	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
42	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
43	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
44	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
45	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
46	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
47	臨床検査技師		常勤 専従	38.75時間/週	
48	臨床検査技師		非常勤 専従	32時間/週	
49	臨床工学技士		常勤 専従	38.75時間/週	
50	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
51	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
52	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
53	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
54	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
55	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
56	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	

番号	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
57	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
58	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
59	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	
60	看護師		常勤 専従	38.75時間/週	

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	3床
専用病床	0床

備考 一般病床以外の病床を含む場合は、病床の種別ごとに記載してください。

(第4面)

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
急患室	44.2㎡	(主な設備) 救急救命及び集中治療用ベッド、患者監視装置、超音波診断装置	可
MR I 検査室	148.75㎡	(主な設備) MR I 装置 (Ingenia Prodiva 1.5T)	可
CT撮影室	63.2㎡	(主な設備) CT装置 (マルチスライスCT64列)	可
血管撮影装置	128.9㎡	(主な設備) 血管連続撮影装置 (Artis zee FA)	可
輸血管理室	13.1㎡	(主な設備) 輸血検査システム、保冷库	可
検査室	567.7㎡	(主な設備) 多項目自動分析装置、自動電気泳動装置、血液検査システム等	可
手術室	507.07㎡	(主な設備) 超音波凝固切開装置、電気メス、全身麻酔装置、人工心肺装置、全自動自己血回収装置等	可

透析室	294. lmi	(主な設備) 多人数用透析液供給装置、透析用監視装置、逆浸透法精製水製造装置、人工呼吸器等	可
-----	----------	--	---

#### 4 重症救急患者の受入体制の確保

<p>○ 救急応需診療科目 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科</p> <p>○ 救急病院指定期間 令和5年2月1日から令和8年1月31日まで</p> <p>○ 内科、外科二次輪番制に参加</p>
---

備考 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載してください。

既に、救急病院等を定める省令に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策事業実施要綱に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載してください。

#### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送自動車により搬入した救急患者の数	1,328人 (699人)
上記以外の救急患者の数	263人 (59人)
合計	1,591人 (758人)

備考 括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載してください。

#### 6 救急用又は患者搬送用自動車

救急用又は患者搬送用自動車	1台
---------------	----

(第5面)

共同利用の実績

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関延べ数	325件
そのうち開設者と直接関係のない医療機関延べ数	325件
共同利用に係る病床利用率	0.0%

備考 共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を記載してください。

2 共同利用の範囲等

MRI、CT、RI、超音波検査、脳波検査 地域医療連携室、会議室、診療録管理室、病床
---

常時共同利用可能な病床数	6床
--------------	----

備考 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とするものを記載してください。

3 共同利用の体制

- (1) 共同利用に関する規定の有無 有
- (2) 利用医師等登録制度の担当者 氏名: XXXXXXXXXX  
職 種: 事務職

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別添「登録医療機関の名簿」のとおり				

備考 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記載してください。

(第6面)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

□地域の医療従事者向け研修会（詳細は別添「研修実績」参照）

1. 症例検討会（1回）
2. 感染症の基本的対策について【感染対策研修】（1回）
3. 高齢者施設における感染管理・職員の衛生管理・感染症への対応【感染対策研修】（4回）
4. 感染対策地域連携研修【感染対策研修】（2回）
5. 感染対策向上カンファレンス【感染対策研修】（4回）
6. がん薬物療法の現状と肺癌薬物治療について【薬剤部研修】（1回）
7. 入院中の直接服薬確認療法および退院支援について【看護部研修】（1回）

実施回数19回（うち地域の医療従事者の実施14回）

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	14回
(2) (1)の合計研修者数	250人

備考 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記載してください。  
2 (2)には、研修者の実数を記載してください。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有
- (2) 研修委員会設置の有無 有
- (3) 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
中村 守男	医師	呼吸器内科	院長	34年	新教育責任者
	医師	呼吸器内科	副院長	38年	
	医師	呼吸器内科	統括診療部長	32年	

[Redacted]	医師	脳神経外科	外来診療部長	42年
	医師	整形外科	病棟診療部長	30年
	看護師	—	医療安全管理係長	33年
	看護師	—	皮膚・排泄ケア認定看護師	34年
	看護師	—	感染管理認定看護師	33年
	看護師	—	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	23年
	看護師	—	がん性疼痛看護認定看護師	17年
	看護師	—	慢性呼吸器疾患看護認定看護師	28年

備考 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載してください。

(第7面)

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第一会議室	64.4㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター
第二会議室	43.3㎡	(主な設備) 机、椅子、PC
研修室第一	108.9㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター
図書室	26.3㎡	(主な設備) 蔵書(500冊程度)、電子図書(PC)

(第8面)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	管理課 管理課長	[Redacted]
管理担当者氏名	企画課 事務職	

諸 記 録	保管場所	分 類 方 法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療録</li> <li>手書きカルテ；病歴倉庫（4ヶ所）</li> <li>電子カルテ（平成19年10月より）</li> <li>病院日誌等（管理課）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来カルテ</li> <li>入院カルテ（1入院ごと）</li> <li>X線フィルム（1診療ごと）</li> <li>（1患者ごと）</li> </ul>	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室 企画課	日付順にエクセル管理
	救急医療の提供の実績	管理課 企画課	日付順にエクセル管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室 企画課	研修実施日順にエクセル管理
	閲覧実績	管理課 企画課	日付順にエクセル管理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室 企画課	日付順にエクセル管理

備考 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記載してください。

(第9面)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	管理課 管理課長	
閲覧担当者氏名	管理課 庶務班長 企画課 事務職	
閲覧の求めに応じる場所	応接室 企画課 (1階)	
閲覧の手続の概要 ○開示申請→管理課及び企画課 (1階) →申請書の受理→閲覧責任者→(開示紹介書) →「統括診療部長、当該診療科医長、看護部長」が回答→「院長」⇔(開示照会書・開示回答書)⇔ 診療録等開示委員会 ↓取扱回答書 「開示」		

総閲覧件数		12件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	12件

(第10面)

医療法施行規則第9条の19第1項第1号に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回 (うち1回は書面会議)	令和6年 7月19日(金) 令和6年12月13日(金) 令和7年2月8日(金) : 書面開催 令和7年3月28日(金)
委員会における議論の概要		
<p>【令和6年7月19日(金)】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①紹介患者の提供に関する事(紹介率・逆紹介率)</li><li>②共同利用の実績に関する事(医療機器)</li><li>③救急医療に関する事(救急患者数)</li><li>④地域医療従事者に対する研修実績に関する事</li><li>⑤診療録の管理・閲覧に関する事</li><li>⑥患者に対する相談窓口実績に関する事</li><li>⑦搬送実績報告(秦野市消防本部様より)</li><li>⑧登録医療機関リストについて</li><li>⑨その他(当院からの連絡事項や地域の皆様からの要望について)</li></ul> <p>【令和6年12月13日(金)】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①紹介患者の提供に関する事(紹介率・逆紹介率)</li><li>②共同利用の実績に関する事(医療機器)</li><li>③救急医療に関する事(救急患者数)</li><li>④地域医療従事者に対する研修実績に関する事</li><li>⑤診療録の管理・閲覧に関する事</li><li>⑥患者に対する相談窓口実績に関する事</li><li>⑦搬送実績報告(秦野市消防本部様より)</li><li>⑧登録医療機関リストについて</li><li>⑨その他(当院からの連絡事項や地域の皆様からの要望について)</li></ul> <p>【令和7年2月8日(金) : 書面開催】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①紹介患者の提供に関する事(紹介率・逆紹介率)</li><li>②共同利用の実績に関する事(医療機器)</li><li>③救急医療に関する事(救急患者数)</li><li>④地域医療従事者に対する研修実績に関する事</li><li>⑤診療録の管理・閲覧に関する事</li><li>⑥患者に対する相談窓口実績に関する事</li><li>⑦搬送実績報告(秦野市消防本部様より)</li><li>⑧登録医療機関リストについて</li><li>⑨その他(当院からの連絡事項や地域の皆様からの要望について)</li></ul>		

## 委員会における議論の概要

【令和7年3月28日（金）】

- ①紹介患者の提供に関する事（紹介率・逆紹介率）
- ②共同利用の実績に関する事（医療機器）
- ③救急医療に関する事（救急患者数）
- ④地域医療従事者に対する研修実績に関する事
- ⑤診療録の管理・閲覧に関する事
- ⑥患者に対する相談窓口実績に関する事
- ⑦搬送実績報告（秦野市消防本部様より）
- ⑧登録医療機関リストについて
- ⑨その他（当院からの連絡事項や地域の皆様からの要望について）

上記項目を主な議題として、委員会を実施。

(第11面)  
患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・ <u>相談室</u> その他 ( )	
主として患者相談を行つた者 (複数記載可)	医療社会事業専門員 (3名) 看護師 (2名) その他医事職員	
患者相談件数	1,633件 (入院1,542件、外来91件)	
患者相談の概要		
【相談内容】	(総件数)	(患者相談件数ベース)
退院援助	3,646件	935件
社会復帰援助	15件	15件
受診・受療問題	1,892件	543件
経済問題	210件	85件
心理・社会的問題	128件	55件
【援助方法】		
面接	933件	
電話相談	700件	
院内外・関係機関との連絡調整	15,861件	
・対面協議	3,795件	
・電話	10,798件	
・文書・FAX	1,219件	
・訪問	49件	
カンファレンス等	170件	

備考 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載してください。また、個人が特定されないよう配慮してください。